

8月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号（所蔵あり）
不毛地帯 1～4（山崎豊子全集 12～15）	山崎 豊子／著	F ヤマ 12～15
塩壺の匙	車谷 長吉／著	
赤目四十八滝心中未遂	車谷 長吉／著	F クル
夫・車谷長吉	高橋 順子／著	910.2 タ
怪談売買所	宇津呂 鹿太郎／作	
ざしきわらし	柳田 国男／原作	E キヨ
かっぱ	柳田 国男／原作	E キヨ
思ひ出の記	小泉 節子／著	
はじまりの記憶	柳田 邦男、伊勢 英子／著	
ルリユールおじさん	いせ ひでこ／作	E イセ
じつはよるのほんだなは	澤野 秋文／作	E サワ
まねきねこだいさくせん!	澤野 秋文／作	E サワ
それならいいえありますよ	澤野 秋文／作	E サワ
図書館を建てる、図書館で暮らす	橋本 麻里、山本 貴光／著	527 ハ

～ 読書会 memo ～

本日も暑い中、5名の方に参加いただきました。

お盆の間に山崎豊子の『不毛地帯』を読破されたという方は、「次は『沈まぬ太陽』を読もうかな」と話されており、その読書スピードに驚かされると共に、それほどの魅力がある山崎豊子さんの著書を手に取ってみたいとなりました。

姫路文学館の読書会に参加予定という方は、課題図書である車谷長吉さんの著作について紹介されました。著者の作品には陰惨でどろどろとした表現も多いですが、飼っていたカブトムシについての作品『武蔵丸』が好きだとお話されていました。

尼崎に実在した「怪談売買所」は、自分の恐怖体験を100円で買い取ってくれる店。店主が書いた本にはそこで買い取った怪談が収められていますが、紹介者によれば、その話よりも店主と客のやり取りの方が興味深かったんだとか。

9月スタートの朝ドラ「ばけばけ」のテーマでもある小泉八雲について、妻が語った記録『思ひ出の記』。かつてのこの国を近代的な眼で見、愛してくれた小泉八雲について知ることができます。

図書館のリサイクル資料から読んでくださったという『はじまりの記憶』は、絵本作家いでひでこさんと、（遠野物語ではない方の）柳田邦男さんの共著エッセイ。それぞれの文章が異なる色で印刷され、お二人自身による挿絵も美しい一冊です。

日差しの厳しい8月、会社で仕事を終わらせてから来てくださったという方もおり、本日も色濃く楽しい会となりました。皆さま、ありがとうございました。

次回は 9月21日(日)午前11時からの予定です。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。